

夏の思い出いっぱい

三浦障害児キャンプ体験

障害のある子どもたちを対象にした1泊2日のキャンプ体験が26日、三浦市内で始まった。市内の事業者の協力の下、普段はなかなか体験できないプール遊びをするなど、子どもたちは夏のひとときを楽しんでいる様子だった。

キャンプは子どもたちの自立心を養いながら夏休みの思い出をつくらうと、三浦市社会福祉協議会が企画。自閉症やダウン症、重度の心身障害などがある市内の中高校生15人が参加した。

初日の26日は、市内でハーバーを運営する「リビエラリゾート」の協力を得た。施設内のプールが無償で開放され、子どもたちは水遊びを体験。浮輪を使って水中に浮かんだり、スタッフと一緒に泳いだりし

て、思い出に楽しんでいた。

参加した田村一輝さん(14)は「今年初めてのプールで、気持ちよかった」と

満足そうに話した。保護者の1人は「目が離せないので、普段はプールに連れて行くのも大変。こういう機会はあるがたい」と目を細めていた。

参加者は市総合福祉センターに宿泊し、27日は横浜市の科学館を見学する。

(川口 肇)



思い出に水遊びを楽しむ子どもたち
＝三浦市三崎町小網代のシーボニアマリーナ